

日本の全国将来推計人口の概要

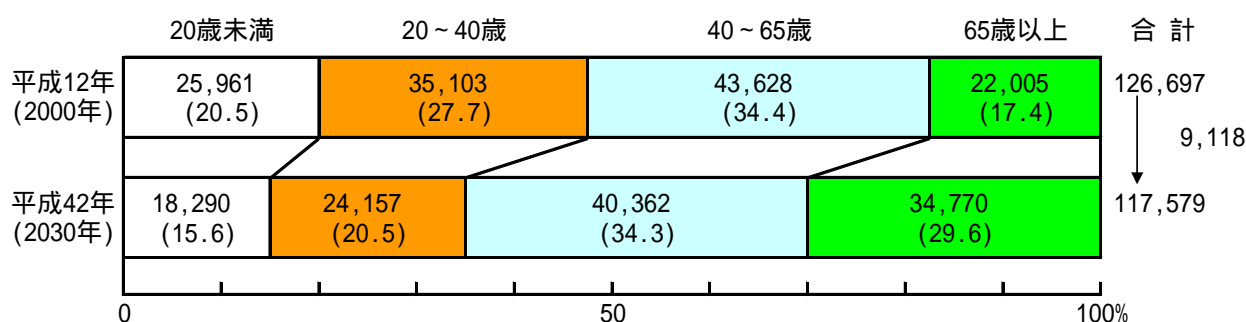
1 日本全国の人口

全国の人口は2006年の1億2,774万人をピークに減少。

2 2030年には、老年人口割合が総人口の3割となる。

全国推計(中位推計)によれば、総人口に占める老年人口(65歳以上)の割合は、2000年の17.4%から2030年には29.6%に上昇する。

年齢別人口割合 平成12(2000)年、平成42(2030)年

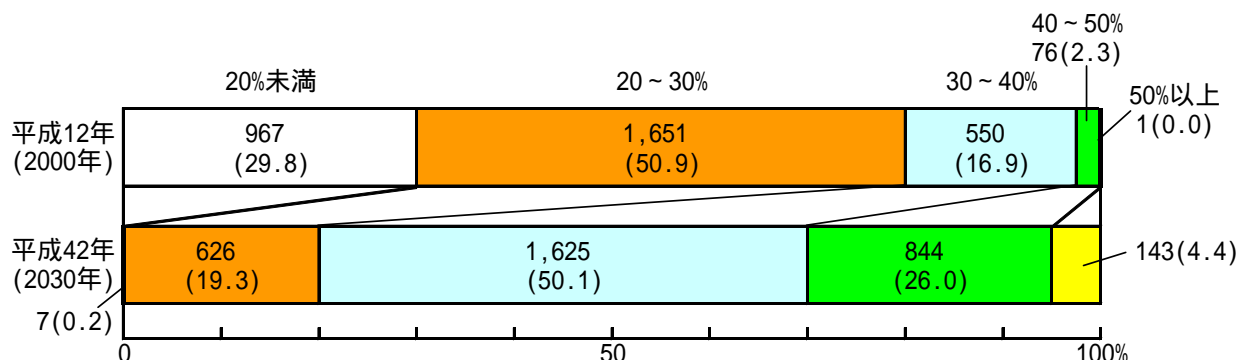


(注) グラフ中の数字は人口(単位:千人)で括弧内はその割合(%)

3 2030年には、老年人口割合40%以上の自治体が3割を超える。

市町村別にみても、99.6%の自治体で老年人口割合は上昇し、老年人口割合40%以上の自治体は、この間に2.3%から30.4%へ著しく増加する。

老年人口割合別市区町村 平成12(2000)年、平成42(2030)年



(注) 1 グラフ中の数字は自治体数で括弧内はその割合(%)

2 割合については四捨五入して表記したため合計が100にならない。

(国立社会保障・人口問題研究所の推計)